



公益社団法人日本山岳会
石川支部報



2015 年度(平成27年度) 1号

平成 27 年 6 月 30 日発行

I.計画山行、行事報告……………1~7

II.その他行事等報告…………… 7~11

III.今後の行事予定…………… 11~12

IV.その他お知らせ…………… 12~13

I. 計画山行・行事報告

1. 平成27年度支部定期総会・宿泊懇親会

■ 4月18日(土)

場所 白山里(白山市瀬波)

参加者 安田 池本 井村 太田 大幡 大庭 岡本 尾山 木原 澤村 関本 田中 谷路
多野 樽矢 津田 中川 長清 埴崎 藤江 前川 前田 村上 八十嶋(会員24名)
廣瀬正(会員会友1名傍聴)

恒例の支部定期総会は毎年4月の第三土曜日に開催し、終了後は宿泊懇親会で支部内のコミを図っている。ここ数年は、白山市瀬波の「白山里」にお世話になっているが、双方慣れたもので使い勝手が良い。今年から開催時間を1時間早め16時から始める。冒頭の定足数確認では、会員41名に対し、参加者24名+委任状15名=39名で総会成立が有効であることを確認する。

H26年度事業報告、同会計報告に続きH27年度事業計画案、同予算案並びに財産目録が提案等され、原案どおり承認される。

引き続いて、その他案件として、①山の日制定関連事業として「親子登山教室の開催」②浅犀みくまりの道周回道の標識について③「今後の会友制度の在り方について」を審議する。①については実行委員会の立ち上げと委員長は岡本さんをお願いする等②では樽矢さん考案の標識案を回覧し意見を募る等実施に向けた意見集約を図った。③はデリケートな問題であるが、現規定では、会友はあくまでも会員へなるための試行期間として設けら

れており、その逆は認めておらず、承認には規約の改正が必要となる。それぞれの思いが熱く語られ、また欠席者から事前に寄せられた意見等も紹介しながら議論するも結論には至らず、近々役員会を招集し、そこで再審議することで総会を終了する。人にはいろんな意見があり、それらが複雑に絡み合って組織が構成されている。要は何を一番大切にするかであり、引き続いての懇親会でもこの話題で盛り上がる。今年も井村さんから高級珍酒の差し入れをいただき、ありがとうございました(文・写真:前川 陽)



2. ふるさと登山道保全整備 富士写ヶ岳～火燈山～大内峠（不惑新道・火燈古道周回）

■ 4月25日(土) 晴

参加者 池本、大幡、大庭、大庭太、織田、國田、関本、澤村、谷路、塚谷、中川、長清、西田茂藤江、前川、八十嶋（会員等 16名）

<作業行程>

7:30 大内登山口駐車場～10:00 火燈山山頂～11:00 小倉谷山～(途中のピークとブナ林昼食休憩～15:00 ブナの小平～16:00 富士写ヶ岳～17:00 大内登山口駐車場

<整備の状況等>

不惑新道の整備を始めて今年で6年目、火燈古道は3年目、登山道としては殆ど完成しているが、不断の手入れが必要。春山山行を兼ねての保全整備を行った。シャクナゲは昨年咲き過ぎたので極端に少ないが、タムシバその他の春の花が見ごろ。雪解け後の倒木などの処理、小柴の刈り取りなどを行った。

秋の5支部合同懇親山行に備えて入念な手入れを行ったため長時間の作業となり、特に自然保護の観点から機械の動力に頼らず、全て人力による整備だったので、長時間の行程となった。

参加者には過大な負担をかけたのではないか。今後の整備のやり方を反省点としたい。

(文：大庭保夫)

日燈山から富士写ヶ岳

大内地区駐車場に着くとほどなく参加者各自集合。15名が揃い大庭さんより登山道整備の要領が指示され大内峠へ登りだす。峠付近で福井の元気な高校生一団が追い越す。メンバーの50年前の年代か。今日は寒さが3月まで伸びた厳しい日々を忘れる春らしいさわやかな好天。予報ではGWまで続くらしい。

いち早く若葉が輝くブナ、雑木の萌木色はウォーミングアップといったところ。タムシバの白い花 名物のシャクナゲ、昨年は近来にない花付を楽しめたが今年は裏年？でチラホラ程度。足元にはスマレ、イカリソウ、ショウジョウバカマ、イワウチワ 春先のつつましい花がそれぞれ春を謳い、ウグイスが春の喜びを告げる。生命のにぎわいを全身に感じる幸せは雪国の住人への天からの贈り物とも思える。

各自のこぎり、カマ、園芸用ハサミを手に登山道の邪魔になりそうな枝やササ等を払い、ムダ話を楽しみながら火燈山へ登り記念撮影 小休止。眺望を楽しみ小倉谷山へ向かう。



小倉谷頂上からは未だ残雪たっぷりの大日山、その後ろに白山、春霞に煙る福井平野が一望できる。ここから富士写ヶ岳まで不惑新道となり細い尾根道が続き、心地よい涼風を受けながら歩く。GWにはかなりの登山者でにぎわうらしい。登山道整備も大庭夫妻をはじめとして地元や福井の山好きな人たちが熱意をもって取り組んでこられた。志を持つ人たちの利他^{りたぎょう}行には頭が下がる。

ブナ平の予定だったが鞍部のブナ林で昼食を取る。大庭さんの奥さんから大野のサトイモ、中川

支部長のコーヒーなど美味しくいただく。ブナの根元に寄りかかりながら心地よい風を楽しむ。

戦いも人間を悩まさざりき 唯 ブナノキの大うでだに 思いの儘にありしときは

木工家 林二郎さんはソローのこの詩が忘れられなかったと作品集に出ている。

ブナ平で一息入れて富士写ヶ岳最後の急登、あえぎながらどうやら頂上に到着。さすがに眺望は素晴らしい。北潟湖はぼんやりと海岸線や九頭龍川は判別しない。福井平野の田圃は水が張られつつある。

毛並みのきれいなスマートな洋犬が登ってきた。人懐こく訪ね人を探すように近づき離れる。前生は人間だったかも？記念写真には入れてもらえず追い払われた。

下山開始、一気に下る。途中越えてきた山並みが一望できる場所でしばし息を整え最後の下りに

足腰がふらつく。1週間は尾が引きそう。川の水音を聞いてほっとする。5時駐車場に到着。なんとか歩き通すことができた。いままで登り2時間程度の山を選んで登ってきたがまるまる一日歩いたのは40年ぶりくらいになる。以前から気になっていた富士写ヶ岳に立てて満足。お世話なされた皆様に感謝。(文：写真 谷路一昭)



3. 大長山登山

■ 5月16日(土)

参加者 織田(C.L) 前川(S.L) 澤村 池本順 西尾昭浩(織田知人)

これまで、この時期の登山口は取立山からだったが、残雪状況等で白峰三ッ谷西俣谷奥から入る。

5名全員O型の陽気なメンバーは、7:50西俣谷川林道ドン詰めの工事用駐車場に集結する。

新顔の西尾さんは織田さんのかつての職場の同僚で10歳ほど織田さんより若く、当然メンバー中最若。あとは前期・後期高齢者軍団で足元は覚束無いが、口先はとっても達者。

7:55支度を終え、気合を入れ出発。のっけから残雪で水流が激しい渡渉の洗礼を受けるが、全員落ち着いて渡りきる。残雪の登山道わきにはフキノトウや若芽が顔を出し、息吹の季節満開。8:15川上御前着。一面雪原の中、丁寧に雪害対策シートで覆われた祠を前に、今もこの地に思いを馳せるかつての村民に熱いものを感じる。このあたりから道の傾斜は徐々に増し、



残雪に隠れた夏山道方向を迷いながら辿り、9:15漸く小原峠に着くが、峠の祠は雪の中で見当たらず。ザックをおろしヤレヤレの一服で、飲料や小腹対策を摂る。

ここからは軽快な尾根伝いでゆとりも出、西尾さんはコシアブラの採取に余念がない。さすが織田さん仕込と感心する。9:55荊安山着。

このあたりからの尾根道の景色は素晴らしく、残雪に映えるブナ林の新緑の鮮やかさや、石徹白道が白山まで伸びる眺めは絶景である。11：07 大長山頂上。誰もおらず適地で昼食とする。織田さんが運び上げたビールや池本さん調理のおつまみの御相伴にあずかり、360度の景色を満喫する。懐かしい取立山も尾根越しにちょこ

んと見える。1時間ほど頂上でくつろぎ、13：10 苜安山、13：45 小原峠、14：35 川上御前、15：00 駐車場に全員無地下山する。帰りも急な雪渓で一部手こずる等したので、女性の応募がなかった今回は、結果的によかったとの全員の感想の山行であった。

(文・写真：前川 陽)

4. (公益事業)「浅犀みくまりの道」周回道整備

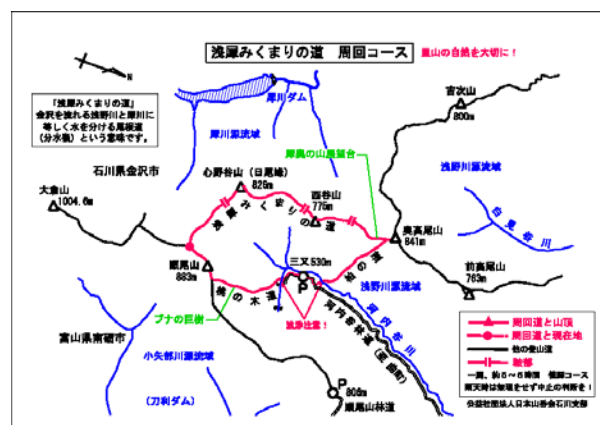
■ 5月30日(土)

・参加者 池本順 岡本 澤村 中川 西田 藤江 前川 八十嶋 藤井あ 藤井美(会員等10名)
神田 中野 西尾(一般3名)

午前6時30分湯涌温泉みどりの里駐車場に集合する。今回初参加では会友の藤井さん姉妹と同知人の西尾さん、西嶋さん紹介の神田さんと、中野さんに助っ人で参加いただく。

駐車場から三台の車に分乗し、河内谷林道途中の駐車可能スペースがある柏谷手前あたりまで進む7：20。ここから10分ほど歩き桃の木道取付に着く7：30。桃の木道は西嶋さんが執念込めて開設した道で、林道から順尾山への最短ルートである。急斜面での草刈機の操作は危険なため、手鎌の人をお願いし先を進む。8：25 ブナの大木に到着し一服する。順次到着した人も大枝に覆われた日陰にご満悦。

西嶋さんが以前、桃の木道のブナなので「桃太郎ブナ」とでも命名しようかと言っていたことを思い出す。30分ほどゆっくり休み9：00 出発。10分ほど歩くと尾根に着く。そこからわずかで順尾山頂上だ9：13。大倉山分岐9：20を過ぎいよいよ難所のアップダウンを超え心野谷山(日尾峰)を目指す。心野谷山到着9：50。この間はいつも心臓がバクバクだ。ここからは下り尾根でメインルートでもあるので、草刈機を適宜使用する。後方から岡本さん、澤村さんの草刈機の音が頼もしく響いている。要所の補助ロープは西田茂さんが石川山協のメンバーと張ったものであるが、張り方が素晴らしく、今度ご教示いただきたいものだ。



設置した案内板(大きさはA4版)

笹と雑木の刈り払いに手こずる道中、中川支部長とすれ違う。支部長は我々とは逆ルートで、柏の道から要所に案内板をつけながら桃の木道へと周回する。西谷山分岐と頂上13：05で真新しい今しがた装着した案内板を見つける。藤江さんをモデルに案内板の写真を撮る。白地に黒、青、赤色のルート図や解説はとても鮮明で分かりやすい。適宜刈り払いながら進み14：45 柏の道分岐着。柏の道も西嶋さん執念の道だ。上部は歩きやすく、垣間見える眺望もこれまでとは違って面白いが、下るに従い眺望は当然失せ道幅は細く勾配もきつくなり、草刈機を持参しながらの下山はかなりの苦労だ。15：30 漸く下の川に到着したときにはさすがにホッとした。手と顔を洗い林道へ上がる15：05。今回、初めて登山道整備に参加された方はかなりの体験だっ

たと思う。ルート of 険しさから支部での維持には異論もあるが、今回伐採しながら周回してみ、開設者のこれまでの執念に、改めて感嘆の

思いであった。

(文：前川陽)

5. (公益事業) 第24回石川県安全登山の集い「鞍掛山」478m

■ 6月7日 (日)

- ・ 集合場所 石川県内水面水産センター (加賀市山中温泉荒谷地内)
- ・ 参加者 織田 藤江 前川 (会員3名)
参加者計 45名 (石川県山岳協会員 27名 一般参加者 18名)

8時30分に石川県内水面水産センターに集合。予定の9時より早い8時50分から開会式。その後、班ごとに順次、出発。冒頭、高田会長の挨拶では、「滑落、遭難などは道迷いが原因の場合が多く、とにかく、地図に親しんで、道迷いにならないように」とのこと。

JAC石川3名は、加賀山岳会2名と2班の一般4名を担当。涼しげな鶴ヶ滝を見学した後、9:35登山口。ピーク鞍部での休憩まで、道は良く整備されているが、結構きつく、とにかく、暑い。

10:30三童子山への分岐。

10:45後山にザックをおいて、獅子岩を見学に行く。岩の上は視界が開け高度感もあり気持ちが良い。初めての方は、“怖い!”と言われていた。登山道に戻り少し行くと、避難小屋がある。3代目の小屋だそうだが、とてもきれいに整備されていて、この山が地元の方々にいかに愛されているかがわかる。11:05鞍掛山山頂着。好天でもあり、他のルートからの登山者も多く、山頂はとにかく大混雑で、すいた場所をさがして昼食とする。

小さな子供もいて、気軽に登れる里山もほのぼのとして良いものです。

12:00全員で記念撮影をして、班毎に下山開始。

ぬかるみと枯葉に足をとられながら慎重に下山。13:00登山口着。13:15駐車場着。差し入れの栃もちとコーヒーやお茶をいただきながら、しばし談笑。13:45より閉会式。理事長から、『低山ほど道迷いが多いので、ひとりひとりがリーダーと思って、しっかりと山行を計画して下さい。』との講評をいただく。

基本を学ぶ機会は日頃の山行には、ありそうで少なく、このような集いに参加し、案内を通じて気持ちを引き締めなおす事はとても大切だと思った。それにしても、差し入れの栃もちは大変美味しかったが、ボリュームもすごかった!



(文：藤江以住 写真：前川陽)

6. (公益事業)「杉峠道登山道整備」

■ 6月13日(土)

・参加者 織田(CL) 池本順 大庭保 大庭太 小畑 関本 西田茂 前川 (会員等8名)

途中「道の駅瀬女」の集合者は午前7時までに。8時には杉峠登山口に参加者8名全員が集結する。CLの織田さんの指示で8時すぎから3か所に分かれて草刈りが始まる。登山道自体はきれいにできており、伸びきらない草を順次刈払って行く。

途中、一人で小松から来たと言う登山者が追い越して行く。杉峠には10時15分到着。そこから刈りながら下る。どう考えても登山道を塞いでいる木が一本あるが、その枝の先にはコシアブラの新芽がちらほら。通る方はきっとこの木が切られないことに納得することでしょう。それと峠から一番近い沢にかけられた梯子はすっかり登山道になじんでいる。この道には杉峠を守ろうとする方たちの想いがいっぱい詰まっています。いつも梅雨期に行われる杉峠の整備、これまでたいてい雨にあっていました。今年は珍しく晴天に恵まれ、

第2展望台からの景色は最高でした。白山、別山、三ノ峰の山々、登山道を挟んで反対側には赤兎山。白山の神様が私達を見守ってくれているように感じられました。小さな狭ひとつで微力ながら参加させていただきありがとうございました。



文：小畑聡子 写真：前川陽)

7. (公益事業) 安全登山教室 クライミング研修

■ 6月27日(土)

・参加者 田中(講師) 岡本 織田 木村 樽矢 藤江 藤井あ 藤井美 前川 前田 八十嶋
木原(見学) 会員等12名

朝8時 白山郷体育館に集合する。但し初心者3名は30分前集合でハーネス着用準備。講師は当会会員のセブンサミッター・プロ山岳ガイドの田中康典さん。参加者は講師、見学者1名を含め20代から70代の会員・会友12名。今回のカリキュラムは、「初歩のクライミングとロープワーク」で、まずは体育館横のクライミングボード前でハーネス着用チェックからロープワーク、確保デバイスの基本的使用方法や確認方法等を教わる。その後、クライミングジムへ移動し実際にボードクライミングを体験する。

開始に際し、前川事務局から、国内有数のクライマーである田中さんから直接教示してもらえる大変貴重な時間であることを自覚し、緊張感を持って、真剣に学んでほしいとのあいさつがある。続いて、田中講師から、本来ならば相応の日数がかかるカリキュラムを1日以内の超短時間での講習となるので、安全を最優先として、クライミングの基本をしっかりと習得しながら、楽しんでいただきたいとのあいさつがある。ジム移動前の基本準備として、トップロープをハーネスにダブルエイトノットで接続する方法を練

習。次に2名一組になり体育館横のビレーポイントを利用して確保デバイス（ルベルソ等）の使用方法を繰り返し練習し、使用方法を間違えると墜落時に確実に止められないこと等を確認する。

小一時間の練習では若干の不安感もあったが、各自車に便乗してジムへ移動。

ジム到着後は受付をすませて再集合し、全員で入念にストレッチを行った後、レベルに合わせて先ほどのメンバーでクライミングを開始する。

当初、年配組は威勢が良かったが、数本登るにつれて息が上がり、揚句は休憩が長い見学組へ行く始末。

「今回は無理せずに楽しんでください」との講師の言葉に従い、ほどほどの汗でクライミングを楽しむ。下で見ていると、人の弱点がよく分かり、「それでは俺が！」と意気込んでチャレンジするも、そこは思うようにはいかず、宙ぶりの醜態をさらしてしまうところがクライミングの奥深いところだ。

外はよこなぐりの雨風だが、ジム内はクライマーの熱気で、皆、水分補給しながらの練習となる。おおよそ3時間のジム練習で、各々それぞれの目標ルートを幾度となくチャレンジする。

自分のようにあえなく敗退もあり、また持ち前のバランスと若さで難なくゴールを決めるで若手もありで、あっという間に予定時間が終了。

もう一度体育館へ戻り昼食・休憩の後、今度は確保デバイスを使つての懸垂下降、バックアップの取り方など、今後アルパインクライミングでの重要なポイントを練習し、本日の登山教室を終える。

自分的にはうん十年ぶりの登攀（クライミング）・・室内ボードは全くの初めてで、内心、よくこんなところを登る人がいるのか、などこれまで、

いわゆるふるーい山屋的な感覚だった。

実はたいてい山屋と呼べるものではないんですけど。

ただ実際に体験すると、全身の筋肉を使いもちろん、ぶら下がるのではなく、足で登ることが基本となり、さらに身体バランスを使い上に行くと言う簡単なひと的欲求がどんどん楽しくなってくる。

クライミング技術はクライミング実践のみならず、通常の登山での危険回避技術にも通じる重要なポイントである。

今回のクライミング教室は初心者向けに、通常の登山ではあまり接しない最新のデバイスやその他必要な道具類の説明を講習合間にも詳しく教示頂き、大変有意義であった。

今後は初心者はもちろん、クライミング経験者、クライミングはしないけど山歩き達人各位も、講師から最新の技術情報を教示してもらの意味で、定期開催、会員会友の参加で賑やかな教室になればと思う。

翌日は筋肉痛もなく、山岳会のあらたな楽しみが増えた一日であった。



(文：樽矢導章 写真：田中康典)

Ⅱ.その他行事等報告

1. H27年度第一回役員会議内容

■4月23日(木) 19時～22時

1. 平成27年度第一回役員会議

- ・日 時 平成27年4月23日(木) 19時～21時20分
- ・場 所 金沢市総合体育館 第三会議室
- ・出席者 津田 中川 前川 岡本 八十嶋 池本 田井 大幡 田中 樽矢 前田
関本、大庭、埴崎は意見を付した委任連絡。(以上役員11名 名簿順)

2. 内容

1.支部会友制度の在り方について

本件は、本部会員を退会した会員が再度、支部会友を希望したことに伴う審議案件であったが、会友制度に対する各種問題点が浮き彫りとなったため、慎重に検討し、未来志向と組織内融和を基調に以下の通り規約改定の骨子を作成し、次年度総会に諮る。

- ① 現行規約では会友へ戻ることには無理があるが、規約を盾に拒否はしない。
- ② 現行規約で「会友」とは、会員になるための試行期間となっているが、その意識が本人や紹介者に十分に浸透されているかは疑問である。
- ③ 会友も石川支部の会員である。支部の存続と、歴史と伝統ある日本山岳会を理解し利活用してもらうために、会員への関心を高めて貰うことが肝要であり、その意識改革の一環として、これまでの「会友」という呼称を「準会員」に改め「会員」への意識向上を図る。尚、他支部所属の会友は「会員会友」、会員の家族は「家族会員」と改め、年会費は現状のままとする。
- ④ 現行の会友会費 3,000 円は他の山岳会と比較しても低く、会員との差も大きい。会の運営と意識向上の観点からこれを見直し、支部会費を月額 500 円・年間 6,000 円に改定し、納入は一括払い・半期払いを選択可能とする。年度途中入会の場合は、月額 500 円(月内は 500 円に切り上げ)×在籍月数で算出する。値上分の収入は研鑽を積もうとする後継者の育成および支部活性化基金として活用する。
- ⑤ 以上実施に向けた支部規約の見直しは、次年度支部総会に諮るが、現行の支部規約の「支部会友」としての条件である「その後、通常会員になりうる者」の条分は、そのまま踏襲する。
- ⑥ この度の会友移行希望については、希望者が既に本部へ退会届を提出したので、規約第6条(資格喪失)により審議対象にならず、来年の「準会員」制度制定時に再度応募いただければよいが、この間の支部行事への参加については、元会員として参加可能とする。但し、自己の責任において遭難保険に加入している事。又、保険適用イベント参加等費用が発生するものは、実費負担とする。

2.その他の案件

◆新入会友(4名)の承認について

- ・岡本会員紹介・・・米山 宏さん 安田友美さん
- ・中川会員紹介・・・藤井美峰さん 藤井あゆみさん

◆山の日制定記念講演会（8/30）

深田久弥山の文化館・公益社団法人日本山岳会・石川県山岳協会の共催とする。

会員参加型企画に向けて協力する。会場も文化館より広い場所を設営。

渉外窓口：山の文化館（大庭会員） 県山協（前川事務局長）

県山協より実施概要の送付希望あり。（承認）

◆5支部合同懇親山行（11/7～8）

すでに4支部には通知済。

宿泊：栗津温泉「露天のゆ 金閣」 関本副支部長交渉中。

正式依頼の為、中川、関本で金閣総支配人と交渉する。

◆公益事業「親子登山教室」について

総会で選任されたプロジェクトチームで、委員長の岡本さんを中心に今後の予定、内容を協議する。

以上

平成27年4月24日

公益社団法人日本山岳会

石川支部長 中川博人

2. 「親子登山教室」開催に向けた事前検討会

■5月10日（日） 14時～16時

・場所 岡本実行委員長宅

・参加者 岡本 中川 前川

・内容 4/18の総会に諮った概要をもとに第一回実行委員会の原案の検討。

主催 共催 後援 実施目的 座学・フィールド実習の内容、日程 対象者の範囲

募集人員 実行委員会メンバー 座学・フィールド実習内容 講師陣 参加募集方法

参加者の保険 参加料 登山日 その他

3. 第一回親子登山教室実行委員会

■5月13日（水）19時～21時半

・場所 金沢市総合体育館 第三会議室

・参加者 岡本 中川 前川 池本 八十嶋

・内容 5/10の事前検討会の内容を検討

・主な検討項目

1. 実行委員会の構成

・実行委員長 岡本 ・副実行委員長 中川 関本 ・アドバイザー 田中

・事務局、会計 前川 池本順 八十嶋 ・救護係 織田 ・HP、広報 樽矢 ・委員 会友数名

2. 座学等内容及び講師

7月12日(日)

- ①山を知ろう(田中) ②登山の基本(関本)
- ③地図の読み方(中川) ④天気の見方(多野)

7月26日(日)

- ①登山計画の立て方(八十嶋) ②山での健康(津田)
- ③キゴ山を歩いてみよう(織田、樽矢、池本、中川)

8月22日(土)～23日(日)

白山登山実施

4. 山岳講演会開催に伴う事前打ち合わせ

■5月20日(水) 15時～16時30分

・場所 深田久弥山の文化館

・参加者

(山の文化館) 大和理事長 紺谷理事長 堂野事務局長 真栄さん 野村さん
(JAC石川支部) 津田 中川 岡本 前川

・内容

山の日制定に伴うプレ行事と、共同開催の相乗効果を高めることを目的に、JAC石川支部と「深田久弥山の文化館」がタイアップして、本年8/30、山岳講演会を行う。

初回打合せの今回は、講師をはじめとした関係者の顔合わせと、講演内容や講演場所の意識合わせを行った。今後、実施に伴う窓口は各事務局とし、双方連絡を密に取り合い円滑な運営に努力するとともに、今回の開催を一過性に終わらせることなく発展させ「深田久弥」の地元として、新たな関連事業の展開に努力していくことで一致した。

5. 第二回「親子登山教室実行委員会」

■5月20日(水) 19時～21時半

・場所 金沢市総合体育館 第三会議室

・参加者 岡本 中川 多野 織田 田中 樽矢 池本順 前川

・内容 樽矢さん考案の案内用チラシ原稿等を中心に実施要領内容全般についての見直し検討実施。

6. 支部合同懇親会会場交渉

会場選定に関しては、関本副支部長知り合いの粟津温泉露天のゆ金閣にお願いする。

■6月5日(金) 15時～15時30分

・打合せ場所 粟津温泉 辻の屋花乃庄 ロビー

・参加者 旅館側：松本さん 支部：中川 関本

・内容 宿泊先：粟津温泉露天のゆ金閣(辻の屋花乃庄姉妹店)

宿泊日11/7(土) 予定人員50名程度 宿泊料14,000円(酒代込)

7. 石川県山岳協会理事会

■6月24日 19時～21時

- ・場所 北陸電力石川体育館 会議室
- ・参加者 前川
- ・内容 議題が多いため当支部関連のみ記載（申込等詳細は支部事務局まで）
 - ①「石川県安全登山の集い」実施報告 6/15（日） 鞍掛山
参加者 47名（協会員 27名 一般 20名）
*課題：一般参加者の地図読みに対する興味が薄く、向上施策が必要。
 - ②クライミング競技
 - ・県民スポレク祭クライミング大会
8/2（日）8時～16時 医王山スポーツセンタークライミングウォール
 - ・石川県民体育大会
 - *クライミング競技 8/8（土） 9時～ 医王山スポーツセンタークライミングウォール
 - *縦走協議 8/9（日） 午前6時～ 菱池町～奥医王山
 - ③県体功労者表彰の推薦について
木原 清（当支部会員）
 - ④平成27年度中高年安全登山指導者講習会（東部地区）
 - ・期日 9/11（金）～13日（日）
 - ・会場 八王子市川町55「高尾の森わくわくビレッジ」
 - ・申込期限 8/4
 - ⑤JAC石川支部実施「白山親子登山教室」チラシ
協会参加の各山岳会に紹介しチラシ配付

III. 今後の行事予定

各参加申込は、指定期日までに事務局または各担当者までお願いします。

概要のみ記載されているものは、別途担当者から参加者へ詳細通知します。

1. (公益事業) 自然観察会

■ 7月4日（土）

- ・場所 蟹淵^{がんぶち}及び周辺山域
- ・集合 午前9時 「能美市こくぞう里山公園交流館」に集合、その後車分乗移動。
- ・能美市和気町い21-1
- ・電話 0761-51-2308 ・担当者 解説誘導員 安田^{あんだ}二三男会員 埴崎滋会員（アシスト）
- ・申込 前日までに事務局または担当者まで

2. (公益事業) 白山親子登山教室第一回座学研修

■ 7月12日（日） 9時～14時

- ・場所 キゴ山ふれあいの里研修館
- ・カリキュラム（講師） ①山を知ろう（田中） ②登山の基本（関本） ③地図の見方（中川）
④天気の見方（多野） ・担当者 岡本実行委員長

3. 北アルプス合宿

■7月18日（土）～20日（月）

- ・場所 槍ヶ岳～穂高岳
- ・担当者 関本 八十嶋
- ・申込 7/11（土）までに事務局または担当者まで

4. (公益事業) 白山親子登山教室第二回座学及びフィールド研修

■7月26日（日）

- ・場所 キゴ山ふれあいの里研修館
- ・カリキュラム（講師） ①登山計画の立て方 ②山での健康（津田）
③ キゴ山を歩いてみよう（織田、樽矢、池本、中川）
④ ④白山登山説明（岡本）
- ・担当者 岡本実行委員長

5. 山研集会

■8月1日（土）～2日（日）

- ・場所 上高地山岳研究所 十石山
- ・担当者 池本 織田
- ・申込 早急に事務局または担当者まで

6. (公益事業) 白山親子登山教室

■8月22日（土）～23日（日）

- ・場所 白山室堂
- ・担当者 岡本実行委員長
- ・申込 公募中 担当者または実行委員会まで

7. (公益事業) 山岳講演会（山の日制定記念）

■8月30日（日）

- ・場所 深田久弥山の文化館 「聴山房」 TEL0761-72-3313 加賀市大聖寺番場町18-2
- ・演題 ティリッチミール登頂（7,708m）1,971年日本山岳会石川支部の記録
- ・講師 津田文夫
岡本明男
- ・定員 60名（先着順：入場無料）
- ・申込 参加人数把握のため聴講希望者は支部事務局まで連絡ください。

8. 乗鞍岳登山

■9月5日（土）～6日（日）

- ・場所 乗鞍岳 千町尾根
- ・担当者 八十嶋 池本
- ・申込 8/29までに事務局または担当者まで

9. (公益事業) 清掃登山

■9月12日（土）～13日（日）

- ・場所 白山大汝避難小屋
- ・担当者 中川 岡本
- ・申込 9/5までに事務局または担当者まで

IVその他お知らせ

1. 会員の退会について

4月受付

内藤 千代さん

北 栄一郎さん（石川支部退会 本部会員継続）

2. 会友の入会について

4/23 役員会で承認

米山宏さん 河北郡内灘町

安田友美さん 金沢市諸江町

藤井美峰さん 白山市徳丸町

藤井あゆみさん 金沢市舘町

（藤井さん2名は姉妹です。）

3. 会友住所の変更について

木村創史さん

新住所 〒921-8824 野々市市新庄 2-129-5

4. H27 支部総会資料作成後に澤村さんからH26 の個人山行報告をいただきましたので紹介します。

5/29 大嵐山 6/4 大嵐山 8/12～14 大汝（加賀禅定道～砂防新道） 9/13 奈良岳の前山

百万貫岩の後山 10/9 新岩間温泉～中川河川敷 10/24 奈良岳、白峰スキー場

<編集後記>

先のクライミング講習会では、講師のしなやかで華麗なムーブを目の当たりにし、小学生とオリンピック選手のような違いがあることに目覚め、ガ～ン！

なんとか気を取りなし、最後は講師の講評どおり「クライミングは手でなく足で登る」を痴呆気味の頭に叩き込んだことは、自分なりに上出来、かも。(A.M)

日本山岳会石川支部報

発行日 2015年（H27年）6月30日

発行者 公益社団法人日本山岳会

石川支部長 中川博人

編集者 事務局長 前川 陽

電話 076-232-3555

E-mail isk@jac.or.jp

HP jac-isk.com